

# 山を治め生活をまもる

森林は、国土の保全や水資源の涵養<sup>かんよう</sup>とともに、気象の緩和やなだれの防止など生活環境の保全・形成に重要な役割を果たしています。

国や道では、これらの機能を高度に発揮することが必要な森林を保安林に指定するとともに、山地災害の未然防止や荒廃した森林の復旧などを目的とした治山事業を実施しています。

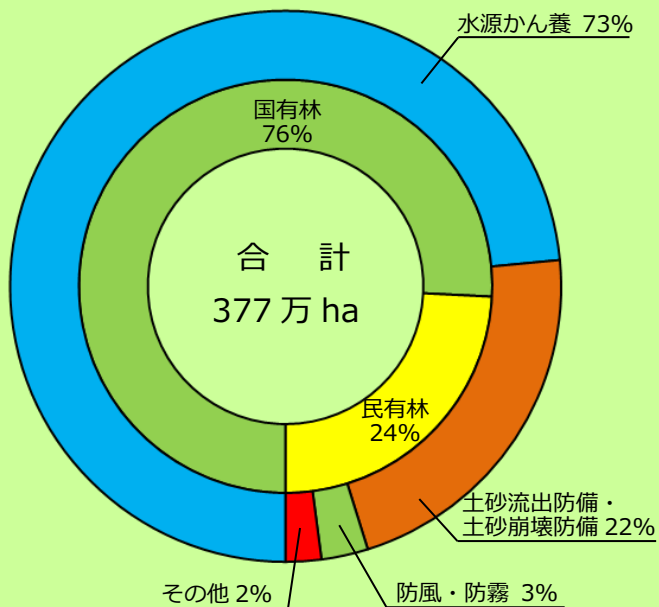


▲山腹工【白糠町】

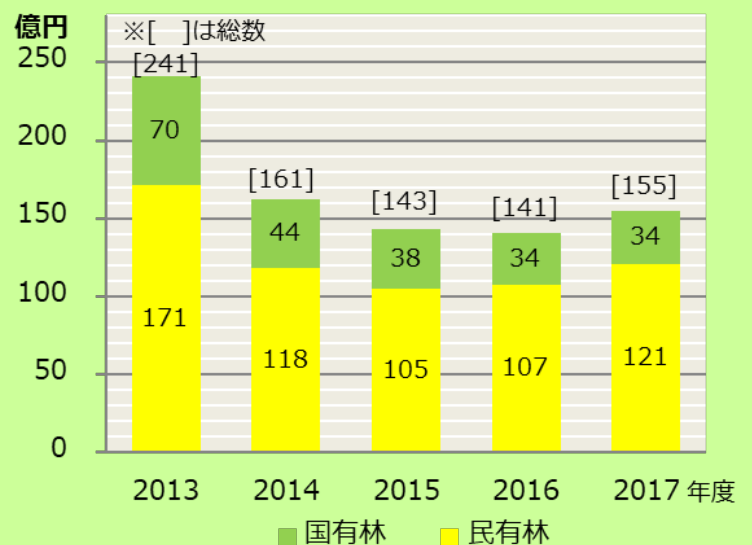


▲防風保安林【中札内村】

Data 保安林面積 (2018年3月31日現在)



Data 治山事業実績の推移



資料:北海道水産林務部「北海道林業統計」

# 木材を生産する

森林から様々な工程を経て伐り出された丸太は、製材工場などに運ばれ、加工されます。

このような作業の効率化や労働環境の改善などを図るため、路網の整備や高性能林業機械の導入が進められています。

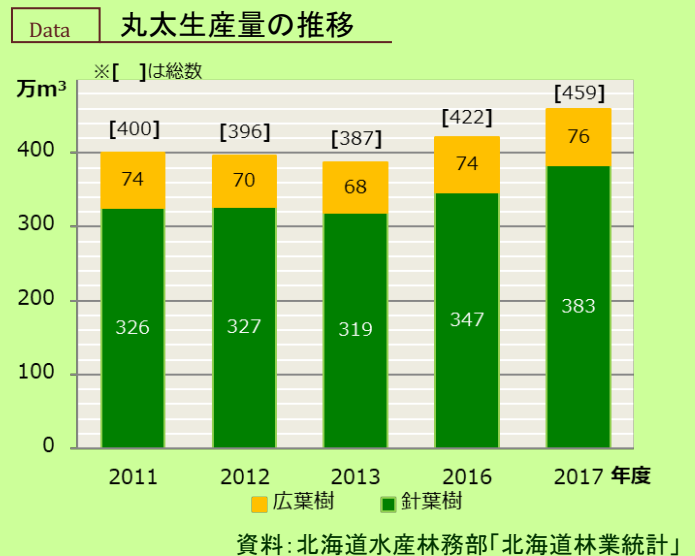
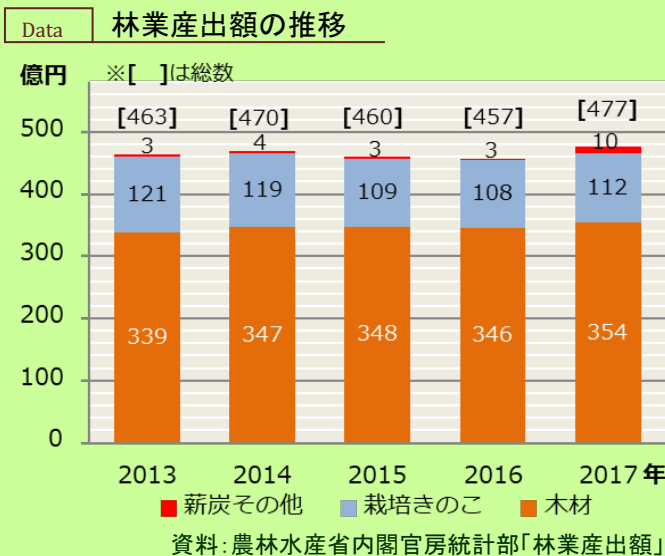
また、森林からは木炭や山菜なども生産され、きのこ栽培とともに山村における貴重な産物となっています。



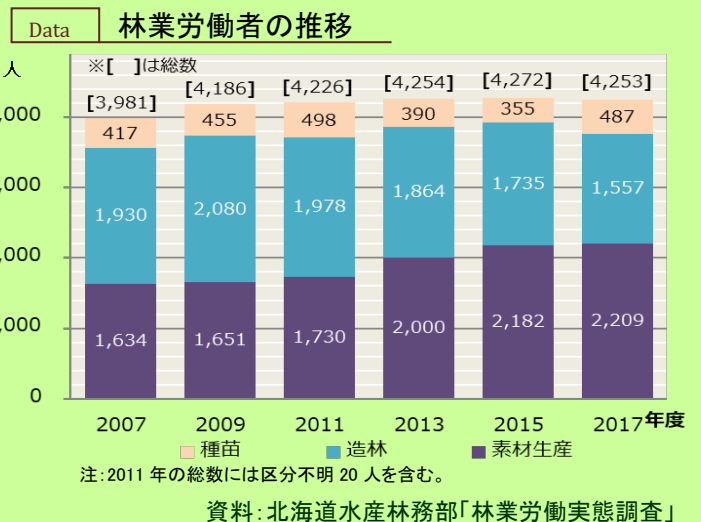
▲森林基幹道【豊浦町】



▲山土場でのはい積み作業



▲木材加工施設





# 暮らしの中に木材を利用する

木材は、温かみがあり、断熱性や湿度を調節する機能に優れ、また、繰り返し生産することが可能な、人と地球に優しい素材です。

こうした特性を活かし、住宅などの建築資材、家具の材料など、私たちの身近な場面で用いられています。

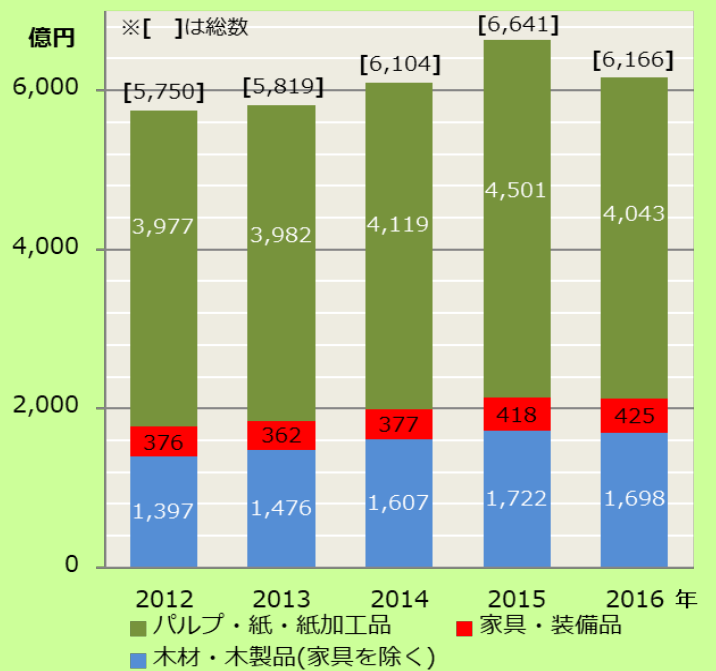
▼公共施設の木造化・木質化



▼もくもくフェスティバル

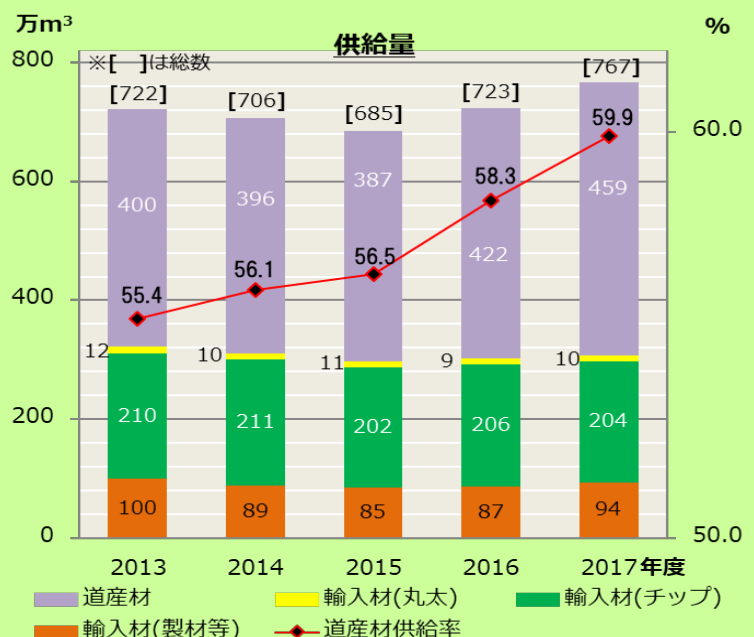
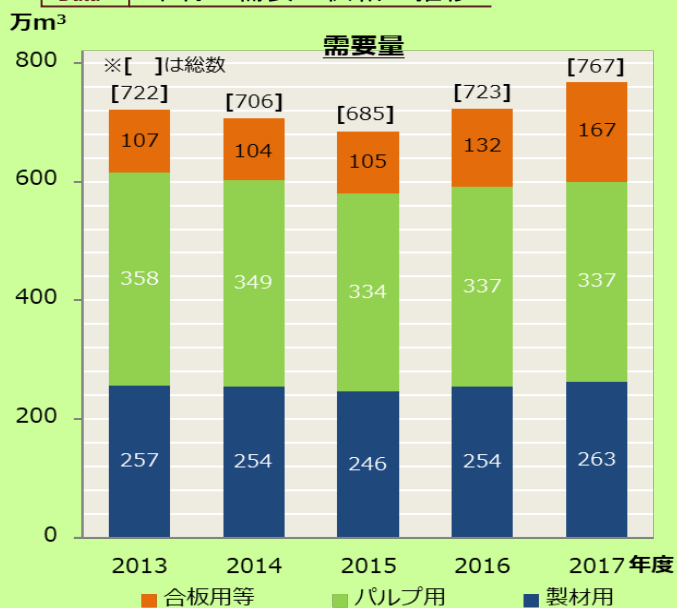


Data 木材関連工業の出荷額の推移



資料: 経済産業省「工業統計調査」

Data 木材の需要と供給の推移



注: 輸入材のチップ、製材は丸太換算量  
資料: 北海道水産林務部「北海道林業統計」

# 森林のはたらき



北海道では、平成14年3月に「北海道森林づくり条例」を制定し、国や市町村、関係団体などと連携を図りながら、北海道にふさわしい豊かな生態系を育む森林づくりを進めています。

北海道と北海道森林管理局は、平成25年6月に「北海道の森林づくりに関する覚書」を締結し、①森林資源の循環利用による地域産業の活性化、②公益的機能の発揮に向けた森林の整備保全、③「木育」に基づく道民との協働による森林づくり について、民有林と国有林の連携を強め、百年後を見据えた多様で豊かな森林づくりを進めることとしています。